

平成27年度

掛川市・袋井市病院企業団
病院事業会計決算審査意見書

掛川市・袋井市病院企業団監査委員

掛袋病企監第5号
平成28年7月27日

掛川市・袋井市病院企業団
企業長 名 倉 英 一 様

掛川市・袋井市病院企業団

監査委員 横 山 茂 明

監査委員 原 田 達 功

平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計
決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、平成27年度掛川市・袋井市
病院企業団病院事業会計決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

目 次

	ページ
1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の方法	1
4 審査の結果及び意見	1
1 審査の結果	1
2 審査の意見	1
5 決算の概要	3
(1) 業務の執行状況	3
(2) 予算の執行状況	6
(3) 経営成績の状況	9
(4) 財政の状態	16
(5) 未処理欠損金の処理について	17
6 キャッシュ・フロー計算書	18
7 附表1～3（併参考資料）	20

注 記

- 1 千円単位で表示した金額は、原則として百円単位を四捨五入した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 2 比率（％）は、原則として小数点第2位を四捨五入（ただし、99.95％～99.99％のものは、99.9％としている。）し表示したため、合計比率が一致しない場合がある。また決算書等、他書類と一致しない場合もある。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「0.0」 ----- 該当数値はあるが表示単位未満のもの
「△」 ----- マイナスのもの

平成27年度掛川市・袋井市病院企業団 病院事業会計決算審査意見

1 審査の対象

平成27年度 掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算

2 審査の期間

平成28年5月30日から平成28年7月27日までの間

3 審査の方法

掛川市・袋井市病院企業団企業長から審査に付された決算書及び附属書類について、財務会計上の合規性の検証に加え、事務事業が経済的かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、通常実施すべき審査手続を実施した。

また、計数の確認、関係諸帳簿との照合等を行うとともに、関係職員の説明を聴取した。

4 審査の結果及び意見

1 審査の結果

審査に付された当年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、正確であると認められた。

2 審査の意見

全国初の市立病院同士の統合から3年が経過し、平成27年8月1日には「救命救急センター」の指定を受け、中東遠地域の基幹病院として更に質の高い医療の提供に努められた。

その結果、DPC対象病院における診療実績を評価した機能評価係数Ⅱにおいて、Ⅲ群病院中、全国で20位、県内で1位となるなど、前年度に引き続き病院の体制と実績が高評価を得られたことは、職員の努力の成果として高く評価できる。

運営状況では、一日平均入院患者数は前年度比 3.4人（0.8%）増加し428.1人となり、病床利用率は 85.6%と前年度比 0.7ポイント上昇した。また、一日平均外来患者数は前年度比 20.3人（1.6%）増加し 1,282.7人となった。

診療単価は、入院が 60,289円となり前年度比 1,873円の増加、外来が 12,740円となり、前年度比 721円の増加となった。医師数の充実による患者数の増加にともない、医師一人当たりの診療単価は前年度比 9,843円の増加となった。

医業収益（税抜）では、入院収益が前年度比 392,208千円（4.3%）増加し 9,447,391千円、外来収益が前年度比 268,822千円（7.3%）増加し 3,970,989千円となった。患者数の増加に加え、がん治療にともなう高額な薬剤の使用による外来収益の増加やD P C係数の増にともなう入院収益の増、救急業務にかかる繰入金の積算額変更による他会計負担金の増額が主な要因である。医業収益は医師数に大きく左右されることから、今後とも関係機関と連携し、医師の確保等、診療体制の構築に尽力されたい。

医業費用（税抜）では、前年度比 429,198千円（2.9%）増加し、15,200,994千円となった。職員数の増加及び人事院勧告にともなう手当等の差額支給実施による給与費の増加、抗がん剤等の高額薬品の使用量の増加により、材料費が増加したことが主な要因である。

当年度の経常収支（税抜）は、収益 15,345,373千円、費用 15,939,639千円で、当年度経常損失は 594,265千円となった。これに特別損益 △6,493千円を加えた最終純損失は 600,758千円となり、前年度比 306,355千円の減少と大幅に改善された。これは、患者数増加等により医業収益が増収となったことに加え、原油価格の減少により燃料費が前年度比 22,302千円減、両市からの派遣職員数減少により負担金が 34,285千円減となるなど経費が低く抑えられたことによるものである。当初の設備投資による減価償却費が引き続き負担となっているものの、患者の一部負担にかかる未収金の早期回収と発生防止、価格交渉による経費の削減等、引き続き経営改善に向けた取り組みを進められたい。

企業債については、前年度比 1,050,928千円減少し、未償還残高は 18,713,092千円となっている。医療機器等借入する場合の購入については、企業債の償還額を上回ることをの注意され、経営を圧迫する債務の低減に努められたい。

資本金は、両市からの追加出資を含め 1,774,442千円を受け入れ 2,870,766千円となり、剰余金 △2,690,809千円を加えた資本金は平成28年3月末現在 179,957千円と債務超過は解消されている。

今後も安定した収支状況となるよう留意されたい。

今後とも、企業団・両市の連携により、地域住民の健康増進に寄与されることを望むとともに、地域医療支援病院の指定取得により、中東遠地域の基幹病院として、医療水準の向上を図り、良質な医療の提供に努められるよう望むものである。

5 決算の概要

(1) 業務の執行状況 (予算書第2条関係・業務の予定と実績対比)

ア 病床の利用状況

区 分	平成27年度	平成26年度	比較増減	平成26年度県平均
病 床 数 (床)	500	500	0	-
病 床 利 用 率 (%)	85.6	84.9	0.7	80.2
平均在院日数 (日)	10.2	10.0	0.2	16.5

- ・許可病床数は500床、病床利用率は85.6%で、前年度対比0.7ポイント上昇した。
- ・平均在院日数は10.2日と前年度県平均対比6.3日短く、病床利用率の向上に影響している。

イ 患者数の状況

(単位:人、%)

区 分	平成27年度			平成26年度	対前年度比較増減		
	当初予定量	補正後	実績 ①	実績 ②	①-②	伸び率	
利用患者数	456,270	465,990	468,400	463,026	5,374	1.2	
内 訳	入院患者数	157,380	157,380	156,702	155,011	1,691	1.1
	(診療実日数)	366日	366日	366日	365日	1日	
外 来	外来患者数	298,890	308,610	311,698	308,015	3,683	1.2
	(診療実日数)	243日	243日	243日	244日	△1日	
一日平均入院患者数	430.0	430.0	428.1	424.7	3.4	0.8	
一日平均外来患者数	1,230.0	1,270.0	1,282.7	1,262.4	20.3	1.6	

- ・利用患者数の実績数は468,400人であり、前年度対比5,374人増加した。
内訳は、入院患者数が1,691人の増加、外来患者数が3,683人増加となっている。
- ・利用患者数の多い診療科は、入院で内科24,821人、整形外科20,534人、循環器内科18,125人、
外来では、内科52,543人、整形外科28,157人、眼科20,881人、救急科20,785人となっている。
- ・内科及び循環器内科は医師の増員により、入院・外来とも患者数が増加している。

[資料 1]

地域別延べ患者数(入院・外来)

平成27年度

(単位:人、%)

	掛川市	袋井市	菊川市	御前崎市	森町	磐田市	他県内	県外	計
入院	85,685	40,616	11,551	6,680	2,895	1,731	5,889	1,655	156,702
外来	169,984	78,605	25,663	13,211	6,766	4,922	9,713	2,834	311,698
計	255,669	119,221	37,214	19,891	9,661	6,653	15,602	4,489	468,400
構成比	54.6	25.5	7.9	4.2	2.1	1.4	3.3	1.0	100.0
月平均	21,306	9,935	3,101	1,658	805	554	1,300	374	39,033

平成26年度

(単位:人、%)

	掛川市	袋井市	菊川市	御前崎市	森町	磐田市	他県内	県外	計
入院	83,895	41,647	10,856	7,044	3,218	2,180	4,390	1,781	155,011
外来	168,874	81,433	22,958	11,287	6,958	4,711	8,773	3,021	308,015
計	252,769	123,080	33,814	18,331	10,176	6,891	13,163	4,802	463,026
構成比	54.6	26.6	7.3	4.0	2.2	1.5	2.8	1.0	100.0
月平均	21,064	10,257	2,818	1,528	848	574	1,097	400	38,586

(2) 予算の執行状況 (消費税含む)

ア 収益的収入及び支出 (第3条関係)

(ア) 収益的収入の執行状況

(単位:千円、%)

区 分	予 算		決 算	執行率	比較増減額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 病院事業収益	14,915,865	15,426,776	15,412,821	99.9	△ 13,955
第1項 医業収益	13,983,117	14,488,386	14,519,310	100.2	30,924
第1目 入院収益	9,364,110	9,576,573	9,447,976	98.7	△ 128,597
第2目 外来収益	3,586,680	3,888,486	3,974,159	102.2	85,673
第3目 その他医業収益	850,405	841,405	827,794	98.4	△ 13,611
第4目 他会計負担金	181,922	181,922	269,381	148.1	87,459
第2項 医業外収益	932,747	933,747	888,867	95.2	△ 44,880
第3項 特別利益	1	4,643	4,643	100.0	0

- ・ 病院事業収益は、予算額 15,426,776千円に対し、決算額 15,412,821千円と 13,955千円下回り、執行率は 99.9%となった。
- ・ 医業収益では、予算額に対し入院収益が 128,597千円の減、外来収益が 85,673千円の増、他会計負担金が 87,459千円の増となり、総額で 30,924千円増加した。

(イ) 収益的支出の執行状況

(単位:千円、%)

区 分	予 算		決 算	執行率	不用額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 病院事業費用	15,963,080	16,157,317	16,002,624	99.0	154,693
第1項 医業費用	15,362,090	15,527,363	15,389,215	99.1	138,148
第2項 医業外費用	595,989	613,818	602,274	98.1	11,544
第3項 特別損失	1	11,136	11,136	99.9	0
第4項 予備費	5,000	5,000	0	0	5,000

- ・ 病院事業費用は、予算額 16,157,317千円に対し、決算額 16,002,624千円と 154,693千円の不用額が生じた。
- ・ 不用額の主なものは、次のとおりである。

(医業費用)	予算現額	決算額	不用額
材料費	3,256,782 千円	3,233,162 千円	23,620 千円
経費	2,524,721 千円	2,436,705 千円	88,016 千円
(医業外費用)	予算現額	決算額	不用額
消費税及び地方消費税	45,450 千円	42,572 千円	2,878 千円
院内保育園運営費	72,766 千円	64,638 千円	8,128 千円

イ 資本的収入及び支出（第4条関係）

(ア) 資本的収入の執行状況

(単位:千円、%)

区 分	予 算		決 算	執行率	比較増減額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 資本的収入	1,030,082	2,030,082	1,975,426	97.3	△ 54,656
第1項 企業債	225,000	225,000	195,100	86.7	△ 29,900
第2項 出資金	804,818	1,804,818	1,774,442	98.3	△ 30,376
第3項 貸付資金返還金	264	264	984	372.7	720
第4項 補助金	0	0	4,900	—	4,900

- ・ 資本的収入の決算額は、1,975,426千円で、予算額に対して 54,656千円下回り、執行率は 97.3%となった。
- ・ 企業債は、予算額 225,000千円に対し、決算額 195,100千円であり、差引 29,900千円減の要因は医療機器等の購入減により借入が不要となったためである。

(イ) 資本的支出の執行状況

(単位:千円、%)

区 分	予 算		決 算	執行率	不用額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 資本的支出	1,704,450	1,704,450	1,685,377	98.9	19,073
第1項 建設改良費	394,611	394,611	377,068	95.6	17,543
第2項 企業債償還金	1,246,029	1,246,029	1,246,028	99.9	1
第3項 投資	63,810	63,810	62,280	97.6	1,530

- ・ 資本的支出の決算額は 1,685,377千円で、19,073千円の不用額が生じ、執行率は 98.9%となった。
- ・ 建設改良費の支出内容は、主に債務負担行為 救命救急センター改修工事、医療機器等の購入によるものである。
- ・ 投資の支出内容は、医学生及び看護学生に対する修学資金貸付金である。

(ウ) 資本収支状況

資本的収入額 1,975,426千円、資本的支出額 1,685,377千円となり、収入が支出を上回り、補てん財源は不要となった。

ウ 企業債の発行と償還状況(第6条関係)

(単位:千円、%)

区 分	26年度末残高	27年度借入額	27年度借入利率	27年度償還額	27年度末残高
企業債	19,764,020	195,100	0.10	1,246,028	18,713,092

当年度は195,100千円を借入し、1,246,028千円を償還したため、未償還残高は18,713,092千円となった。借入限度額は施設改良事業75,000千円、医療機器等整備事業150,000千円、借入利率は5.0%以内と定められており、いずれも範囲内である。

エ 一時借入金(第7条関係)

一時借入金の限度額は1,500,000千円であるが、当年度ピーク残高は平成27年4月の482,474千円であり、限度額の範囲内である。

なお、平成28年3月末については、一時借入金は発生していない。

オ 議会の議決を要する経費の流用(第9条関係)

職員給与費及び交際費の流用は、議会の議決を経なければならない経費であるが、当年度の流用はなかった。

	予算現額	決算額
(1) 職員給与費	7,981,485 千円	7,981,408 千円
(2) 交 際 費	510 千円	420 千円

カ たな卸資産(第10条関係)

たな卸資産の限度額は3,241,628千円であるが、購入額は3,163,614千円であり、限度額の範囲内である。

購入額内訳:	薬 品	1,651,041 千円
	診療材料	1,512,573 千円

(3) 経営成績の状況（消費税除く）

ア 経営収支の状況

（単位：千円、％）

区 分		平成27年度		平成26年度		対前年度 増減額	伸び率	
		金 額	構成比	金 額	構成比			
経 常 収 支	収 益	医業収益 (1)	14,461,194	94.2	13,659,654	93.1	801,540	5.9
		入院収益	9,447,391	61.6	9,055,183	61.7	392,208	4.3
		外来収益	3,970,989	25.9	3,702,167	25.2	268,822	7.3
		その他医業収益	773,432	5.0	743,152	5.1	30,280	4.1
		他会計負担金	269,381	1.8	159,152	1.1	110,229	69.3
	益	医業外収益	884,180	5.8	1,015,409	6.9	△ 131,229	△ 12.9
		うち 負担金交付金	682,287	4.4	822,709	5.6	△ 140,422	△ 17.1
		計 (A)	15,345,373	100.0	14,675,063	100.0	670,310	4.6
	費 用	医業費用 (2)	15,200,994	95.4	14,771,796	95.4	429,198	2.9
		うち 給与費	7,957,889	49.9	7,714,603	49.8	243,286	3.2
		うち 材料費	3,210,888	20.1	3,080,321	19.9	130,567	4.2
		うち 経 費	2,281,852	14.3	2,240,478	14.5	41,374	1.8
		うち 減価償却費	1,686,533	10.6	1,675,515	10.8	11,018	0.7
		医業外費用	738,645	4.6	712,360	4.6	26,285	3.7
		うち 支払利息及び 企業債取扱諸費	247,453	1.6	248,515	1.6	△ 1,062	△ 0.4
		うち 雑損失	411,138	2.6	390,112	2.5	21,026	5.4
		計 (B)	15,939,639	100.0	15,484,156	100.0	455,483	2.9
	経常損益(A)-(B) (C)	△ 594,265	-	△ 809,093	-	214,828	-	
	特別利益 (D)	4,643	-	0	-	4,643	皆増	
	特別損失 (E)	11,136	-	98,020	-	△ 86,884	△ 88.6	
	当年度純損益 (F)=(C+D)-(E)	△ 600,758	-	△ 907,113	-	306,355	-	
	前年度繰越利益剰余金 (G)	△ 2,090,051	-	△ 1,182,938	-	△ 907,113	-	
	当年度未処分利益剰余金(F)+(G)	△ 2,690,809	-	△ 2,090,051	-	△ 600,758	-	
	総収支比率 (A+D)÷(B+E)	96.2		94.2		2.0	-	
	医 業 損 益 (1)-(2)	△ 739,800	-	△ 1,112,142	-	372,342	-	
	医業収支比率 (1)÷(2)	95.1		92.5		2.6	-	

- ・ 経常収支は、収益 15,345,373千円、費用 15,939,639千円で、差引経常損失は、594,265千円となり、前年度対比214,828千円改善された。
- ・ 当年度純損失は特別損益 △6,493千円を加え 600,758千円となり、当年度未処理欠損金は 2,690,809千円となった。ただし、両市からの追加出資1,000,000千円(4条収入)により、債務超過は解消された。(参照P17)
- ・ 医業損失は 739,800千円で、前年度の 1,112,142千円に比べ 372,342千円減と大幅に改善された。減少の主な要因は、収益では患者数増加にともなう入院・外来収益の増加と救急業務にかかる繰入金の積算額変更による他会計負担金の増額、費用では燃料費が前年度対比 29.4%減、負担金で 12.4%減と経費が低く抑えられたことが挙げられる。
- ・ 経営上最も重視される医療業務活動の能率効果を測定する医業収支比率は 95.1%となり、前年度対比 2.6ポイント上昇した。

[資料 2]

病院収入と両市からの収益的収入への繰入金決算額の状況は、次表のとおりである。

経常収支と繰入金決算額の推移

(単位:千円、%)

区 分	27年度	26年度
経常収益	15,345,373	14,675,063
うち医業収益 ①	14,461,194	13,659,654
経常費用	15,939,639	15,484,156
うち医業費用 ②	15,200,994	14,771,796
医業損益 ①－②	△ 739,800	△ 1,112,142
経常損益	△ 594,265	△ 809,093

両市からの繰入金(3条)	951,668	981,861
繰入金を除く経常損益	△ 1,545,933	△ 1,790,954
繰入金／経常収益(%)	6.2	6.7

両市からの繰入金決算額の状況

(単位:千円)

区 分	27年度	26年度	前年度 比較増減	
両市からの繰入金	2,726,110	1,726,110	1,000,000	
内	両市負担金 (収益的収入へ)	951,668	981,861	△ 30,193
	掛川市	555,799	573,669	△ 17,870
	袋井市	395,869	408,192	△ 12,323
訳	両市出資金 (資本的収入へ)	1,774,442	744,249	1,030,193
	掛川市	1,077,383	447,239	630,144
	袋井市	697,059	297,010	400,049

自治体病院事業に要する経費のうち、

- ① その性質上経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費

例:救急医療の確保、保健衛生行政事務に要する経費など

- ② 病院事業の性質上、能率的な経営を行っても、なおその経営に伴う収入のみをもって

充てることが、客観的に困難であると認められる経費

例:病院の建設改良に要する経費、高度医療の経費など

については、地方公営企業法により、地方公共団体が負担するものとされている。

イ 医業収益の状況

(ア) 患者の一人・一日当たりの診療収入(診療単価)

入院

算式	平成27年度		平成26年度		比較増減
入院収益(千円)	9,447,391	60,289 円	9,055,183	58,416 円	1,873 円
年延入院患者数(人)	156,702		155,011		

外来

算式	平成27年度		平成26年度		比較増減
外来収益(千円)	3,970,989	12,740 円	3,702,167	12,019 円	721 円
年延外来患者数(人)	311,698		308,015		

・収益、患者数ともに増加となり、診療単価は入院で 1,873円、外来で 721円の増額となった。

(イ) 医師及び看護師の一人・一日当たりの診療収入(診療単価)

医師

算式	平成27年度		平成26年度		比較増減
入院	入院収益(千円)	9,447,391	9,055,183	277,171 円	2,387 円
	年延医師数(人)	33,794	32,670		
外来	外来収益(千円)	3,970,989	3,702,167	169,552 円	7,456 円
	年延医師数(人)	22,434	21,835		
入院+外来		456,566 円	446,723 円	9,843 円	

・入院、外来を合計した医師一人当たりの診療単価は、前年度対比 9,843円の増額となった。

看護師

算式	平成27年度		平成26年度		比較増減
入院	入院収益(千円)	9,447,391	9,055,183	49,240 円	815 円
	年延看護師数(人)	188,739	183,899		
外来	外来収益(千円)	3,970,989	3,702,167	30,114 円	1,575 円
	年延看護師数(人)	125,310	122,940		
入院+外来		81,744 円	79,354 円	2,390 円	

・入院、外来を合計した看護師一人当たりの診療単価は、前年度対比 2,390円の増額となった。

(ウ) 職員一人当たりの医業収益(年間)

算式	平成27年度		平成26年度		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	
医業収益(千円)	14,461,194		13,659,654		
損益勘定職員数(人)	812	17,809 千円	801	17,053 千円	756 千円

※損益勘定職員数には、血液内科医師である企業長を含む。

- ・ 損益勘定職員数が11人増加となり、医業収益が年間801,540千円増加したため、職員一人当たりの医業収益は、756千円の増額となった。

(エ) 入院・外来別の診療収入内訳表

(単位:千円、%)

区分	平成27年度		平成26年度		対前年度増減額	伸び率	
	金額	構成比	金額	構成比			
入院	入院料	4,222,952	44.7	3,891,061	43.0	331,891	8.5
	処置・手術	2,487,079	26.3	2,542,874	28.1	△ 55,795	△ 2.2
	注射	517,035	5.5	468,385	5.2	48,650	10.4
	検査	509,755	5.4	508,718	5.6	1,037	0.2
	放射線	295,459	3.1	296,032	3.3	△ 573	△ 0.2
	給食	244,289	2.6	233,680	2.6	10,609	4.5
	投薬	147,340	1.6	141,040	1.5	6,300	4.5
	その他	1,023,482	10.8	973,393	10.7	50,089	5.1
	計	9,447,391	100.0	9,055,183	100.0	392,208	4.3
外来	検査	876,327	22.1	823,930	22.3	52,397	6.4
	放射線	804,664	20.3	758,258	20.5	46,406	6.1
	処置・手術	580,050	14.6	534,106	14.4	45,944	8.6
	注射	735,215	18.5	587,335	15.9	147,880	25.2
	再診料	154,650	3.9	149,458	4.0	5,192	3.5
	初診料	121,349	3.1	125,001	3.4	△ 3,652	△ 2.9
	投薬	42,577	1.1	48,741	1.3	△ 6,164	△ 12.6
	その他	656,157	16.5	675,338	18.2	△ 19,181	△ 2.8
	計	3,970,989	100.0	3,702,167	100.0	268,822	7.3
入院・外来 計	13,418,380	-	12,757,350	-	661,030	5.2	

- ・ 入院診療収入は、DPC係数の増加にともなう入院料の増加と患者数の増加により、392,208千円(4.3%)の増収となった。
- ・ 外来診療収入は、がん治療にともなう高額な注射薬の使用の増加により、268,822千円(7.3%)の増収となった。

(オ) その他医業収益の状況

(単位:千円、%)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度 増減額	伸び率
室料差額収益	124,139	129,606	△ 5,467	△ 4.2
公衆衛生活動収益	193,756	204,045	△ 10,289	△ 5.0
医療相談収益	337,716	312,991	24,725	7.9
受託検査施設利用収益	2,539	1,977	562	28.4
その他医業収益	115,282	94,533	20,749	21.9
合 計	773,432	743,152	30,280	4.1

・ 室料差額収益 (個室使用料収益)

・ 公衆衛生活動収益 (健康診断・予防接種収益他)

収益が大きいもの	予防接種	63,055 千円
	妊婦健診	49,938 千円
	一般健康診断	32,550 千円

・ 医療相談収益 (人間ドック収益他)

人間ドック (日帰り 9,838人、一泊 34人)	323,669 千円
脳ドック (306人)	10,911 千円
PETがん検診 (29人)	3,136 千円

・ 受託検査施設利用収益 (他の医療機関から検査の委託を受けた検査収益)

・ その他医業収益

収益が大きいもの	文書料	49,105 千円
	新生児介補料	26,160 千円
	病院職員健康診断料	14,645 千円

イ 医業費用の状況

(ア) 給与費の状況

(単位:千円、%)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度 増減額	伸び率
医 業 収 益 ①	14,461,194	13,659,654	801,540	5.9
医 業 費 用 ②	15,200,994	14,771,796	429,198	2.9
給 与 費 ③	7,957,889	7,714,603	243,286	3.2
(うち退職給付費)	455,089	534,855	△ 79,766	△ 14.9
対医業収益比 (③÷①)	55.0	56.5	—	△ 1.5
対医業費用比 (③÷②)	52.4	52.2	—	0.2

- ・対医業収益比率は 前年度対比 1.5ポイント低下し、55.0%となった。
- ・給与費が前年度対比 3.2%増加した主な要因は、職員数の増加に加え、人事院勧告にともなう手当等の差額支給によるものである。

職員数の状況(各年度3月31日現在)

(単位:人)

	医師	医療 技術員	看護師	事務部門	技術労務 部門	計	非常勤
平成26年度	89	126	503	52	31	801	203
平成27年度	90	128	508	55	31	812	224
対前年度	1	2	5	3	0	11	21

- ・医師が1人、看護師が5人増加となり、前年度対比 11人増加した。

医師推移(年間平均在職者数)

(単位:人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医師年間平均在職者数	85.2	89.5	92.3

- ・前年度対比で、医師の年間平均在職者数は 2.8人増加した。

(イ) 材料費の状況

(単位:千円、%)

	平成27年度		平成26年度		対前年度 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
材料費	3,210,888	100.0	3,080,321	100.0	130,567
薬品費	1,756,852	54.7	1,619,887	52.6	136,965
診療材料費	1,417,305	44.1	1,425,027	46.3	△ 7,722
医療消耗備品費	29,678	0.9	28,244	0.9	1,434
給食材料費	7,053	0.2	7,163	0.2	△ 110

- ・材料費は 3,210,888千円で、前年度対比 130,567千円増加した。主な要因は、注射薬等の薬品の使用量が増加したためである。

(ウ) 医業経費の状況

経費のうち金額の大きなもの

(単位:千円、%)

	平成27年度		平成26年度		対前年度 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
経費	2,281,852	100.0	2,240,478	100.0	41,374
うち 委託料	1,277,530	56.0	1,180,352	52.7	97,178
うち 賃借料	253,898	11.1	243,417	10.9	10,481
うち 負担金	241,912	10.6	276,197	12.3	△ 34,285
うち 光熱水費	203,611	8.9	207,440	9.3	△ 3,829

- ・経費のうち、委託料が半分以上を占めている。

委託料のうち金額の大きな業務

医療機器保守業務	265,303 千円
医事業務	249,950 千円
給食業務	206,403 千円
施設設備保守業務	157,999 千円

(4) 財政の状態

資産・負債及び資本の状態を前年度と比較した貸借対照表は、次のとおりである。

(単位:千円、%)

区 分		平成27年度		平成26年度		対前年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	比較増減	伸び率
資 産	固定資産	18,463,128	85.3	19,836,046	89.6	△ 1,372,918	△ 6.9
	流動資産	3,174,776	14.7	2,305,046	10.4	869,730	37.7
資産合計		21,637,903	100.0	22,141,092	100.0	△ 503,189	△ 2.3
負 債	固定負債	18,312,952	84.6	19,359,030	87.4	△ 1,046,078	△ 5.4
	流動負債	2,531,841	11.7	3,048,816	13.8	△ 516,975	△ 17.0
	繰延収益	613,153	2.8	726,973	3.3	△ 113,820	△ 15.7
	計	21,457,946	99.2	23,134,819	104.5	△ 1,676,873	△ 7.2
資 本	資本金	2,870,766	13.3	1,096,324	4.9	1,774,442	161.9
	剰余金	△ 2,690,809	△ 12.4	△ 2,090,051	△ 9.4	△ 600,758	28.7
	計	179,957	0.8	△ 993,727	△ 4.5	1,173,684	△ 118.1
負債資本合計		21,637,903	100.0	22,141,092	100.0	△ 503,189	△ 2.3

ア 資産の状態

当年度の資産総額は 21,637,903千円となり、前年度対比 503,189千円減少した。

- ・ 固定資産は 18,463,128千円で、前年度対比 1,372,918千円(6.9%)減少した。
そのうち有形固定資産は、減価償却実施により 1,431,082千円減となり、差引残高は 18,206,507千円となった。
- ・ 流動資産は 3,174,776千円で、前年度対比 869,730千円(37.7%)増加した。
増加した主なものは現金預金で、両市からの1,000,000千円の追加出資により、前年度対比 781,888千円増加となっている。

貯蔵品回転率

(単位:円、回)

算 式	平成27年度		平成26年度		比 較
期首貯蔵+当年度購入-期末貯蔵	3,216,447,892	21.1	3,086,439,743	19.8	1.3
(期首貯蔵+期末貯蔵)÷2	152,607,854		155,667,228		

- ・ 貯蔵品の回転率は前年度対比 1.3回増加し、21.1回となった。

イ 負債の状態

当年度の負債は 21,457,946千円となり、前年度対比 1,676,873千円減少した。

- ・ 固定負債は 18,312,952千円で、内訳は企業債が 17,419,328千円、リース債務が43,260千円、未払金(医療機器)が 344,094千円、引当金が 506,269千円となっている。
- ・ 流動負債は 2,531,841千円で、1年以内に償還予定の企業債が 1,293,764千円、リース債務が 43,260千円、未払金が 707,942千円、引当金が 421,601千円、預り金が 65,275千円となっている。

未払金の内訳は、

医業未払金	608,811 千円	(109,687千円減)
医業外未払金	15,451 千円	(14,454千円減)
その他未払金	83,679 千円	(15,209千円減)である。

ウ 資本の状態

資本金は両市からの出資金として 1,774,442千円を受け入れて、2,870,766千円となった。

剰余金は、△2,690,809千円となった。

資本金と剰余金を合わせた資本の合計は 179,957千円で、債務超過は解消されている。

(5) 未処理欠損金の処理について

当年度未処理欠損金 2,690,809千円については、全額を翌年度繰越欠損金としている。

6 キャッシュ・フロー計算書

1 業務活動によるキャッシュフロー

(単位：千円)

項 目	平成27年度	平成26年度	比較増減
1 当年度純損益	△ 600,758	△ 907,112	306,354
2 減価償却費	1,686,533	1,671,691	14,842
3 固定資産除却費	575	5,634	△ 5,059
4 長期前払消費税勘定償却	3,018	2,386	632
5 長期前受金戻入額	△ 118,719	△ 118,719	0
6 受取利息及び受取配当金	△ 220	0	△ 220
7 支払利息	247,453	248,515	△ 1,062
8 未収金の増減額	△ 93,085	△ 104,121	11,036
9 貯蔵品の増減額	8,706	△ 2,588	11,294
10 前払金の増減額	△ 9,307	△ 11,665	2,358
11 退職給付引当金の増減額	153,194	320,842	△ 167,648
12 賞与引当金の増減額	14,387	△ 43,782	58,169
13 法定福利費引当金の増減額	5,923	56,633	△ 50,710
14 貸倒引当金の増減額	5,844	3,620	2,224
15 未払金の増減額	△ 126,984	△ 410,155	283,171
16 預り金の増減額	9,557	184	9,373
小 計	1,186,117	711,363	474,754
1 利息及び配当金の受取額	220	0	220
2 利息の支払額	△ 247,453	△ 248,515	1,062
業務活動によるキャッシュ・フロー	938,885	462,848	476,037

2 投資活動によるキャッシュフロー

1 有形固定資産の取得による支出	△ 287,687	△ 98,486	△ 189,201
2 補助金等による収入	4,900	0	4,900
3 長期貸付金の貸付による支出	△ 42,870	△ 42,780	△ 90
4 長期貸付金の返還による収入	984	288	696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 324,673	△ 140,978	△ 183,695

3 財務活動によるキャッシュフロー

1 一時借入金による収入	0	1,443,836	△ 1,443,836
2 一時借入金の返済による支出	△ 455,228	△ 1,354,986	899,758
3 建設改良事業債による収入	195,100	157,000	38,100
4 建設改良事業債の償還による支出	△ 1,246,028	△ 1,195,780	△ 50,248
5 リース債務の返済による支出	△ 43,260	△ 43,260	0
6 長期未払金の返済による支出	△ 57,349	△ 76,039	18,690
7 他会計からの出資による収入	1,774,442	744,249	1,030,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	167,676	△ 324,980	492,656

資金増減額	781,888	△ 3,110	784,998
--------------	---------	---------	---------

資金期首残高	5,772	8,882	△ 3,110
---------------	-------	-------	---------

資金期末残高	787,660	5,772	781,888
---------------	---------	-------	---------

キャッシュ・フロー計算書は、病院事業会計における純損益から、資産の増減を反映させ、減価償却費など、非資金項目を調整した「間接法」で作成し、実質資金収支(キャッシュ・フロー)を示したものである。

なお、本年度の業務活動によるキャッシュ・フローは 938,885千円プラス、投資活動によるキャッシュ・フローは 324,673千円マイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで 167,676千円プラスとなった。

これにより、資金期末残高は 787,660千円となった。

附表 1

最近3カ年の入院・外来 診療科別患者数、構成比及びすう勢比率 (単位：人、%)

区 分	入 院				外 来				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年度 差・伸び率	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年度 差・伸び率	
内 科	患者数	16,913	22,622	24,821	2,199	41,326	48,788	52,543	3,755
	構成比	12.8	14.6	15.8		15.8	15.8	16.9	
	すう勢比率	100.0	133.8	146.8	9.7	100.0	118.1	127.1	7.7
神経内科	患者数	6,132	6,471	5,996	△ 475	8,752	11,143	11,860	717
	構成比	4.6	4.2	3.8		3.4	3.6	3.8	
	すう勢比率	100.0	105.5	97.8	△ 7.3	100.0	127.3	135.5	6.4
呼吸器内科	患者数	10,047	11,874	11,328	△ 546	5,498	7,498	7,576	78
	構成比	7.6	7.7	7.2		2.1	2.4	2.4	
	すう勢比率	100.0	118.2	112.8	△ 4.6	100.0	136.4	137.8	1.0
消化器内科	患者数	14,009	16,411	15,129	△ 1,282	18,264	19,952	17,778	△ 2,174
	構成比	10.6	10.6	9.7		7.0	6.5	5.7	
	すう勢比率	100.0	117.1	108.0	△ 7.8	100.0	109.2	97.3	△ 10.9
循環器内科	患者数	12,622	15,304	18,125	2,821	12,163	15,492	16,595	1,103
	構成比	9.5	9.9	11.6		4.7	5.0	5.3	
	すう勢比率	100.0	121.2	143.6	18.4	100.0	127.4	136.4	7.1
外 科	患者数	13,467	13,763	13,466	△ 297	16,274	17,750	18,112	362
	構成比	10.2	8.9	8.6		6.2	5.8	5.8	
	すう勢比率	100.0	102.2	99.9	△ 2.2	100.0	109.1	111.3	2.0
小児外科	患者数	0	0	0	0	3	0	0	0
	構成比	0	0	0		0.0	0	0	
	すう勢比率	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—
呼吸器外科	患者数	11	0	104	104	28	0	189	189
	構成比	0.0	0	0.1		0.0	0	0.1	
	すう勢比率	100.0	—	945.5	皆増	100.0	—	675.0	皆増
整形外科	患者数	19,196	20,221	20,534	313	25,479	29,840	28,157	△ 1,683
	構成比	14.5	13.0	13.1		9.8	9.7	9.0	
	すう勢比率	100.0	105.3	107.0	1.5	100.0	117.1	110.5	△ 5.6
リウマチ科	患者数	0	0	0	0	1,463	1,861	1,992	131
	構成比	0	0	0		0.6	0.6	0.6	
	すう勢比率	100.0	—	—	—	100.0	127.2	136.2	7.0
脳神経外科	患者数	12,608	14,972	16,199	1,227	13,410	14,656	14,178	△ 478
	構成比	9.5	9.7	10.3		5.1	4.8	4.5	
	すう勢比率	100.0	118.8	128.5	8.2	100.0	109.3	105.7	△ 3.3
小 児 科	患者数	3,746	5,122	5,262	140	13,077	16,972	18,916	1,944
	構成比	2.8	3.3	3.4		5.0	5.5	6.1	
	すう勢比率	100.0	136.7	140.5	2.7	100.0	129.8	144.7	11.5
産婦人科	患者数	6,866	8,559	7,853	△ 706	15,239	17,656	18,397	741
	構成比	5.2	5.5	5.0		5.8	5.7	5.9	
	すう勢比率	100.0	124.7	114.4	△ 8.2	100.0	115.9	120.7	4.2
泌尿器科	患者数	5,090	6,528	5,794	△ 734	11,880	14,463	14,037	△ 426
	構成比	3.9	4.2	3.7		4.5	4.7	4.5	
	すう勢比率	100.0	128.3	113.8	△ 11.2	100.0	121.7	118.2	△ 2.9
皮 膚 科	患者数	1,810	1,574	1,904	330	11,062	12,192	13,017	825
	構成比	1.4	1.0	1.2		4.2	4.0	4.2	
	すう勢比率	100.0	87.0	105.2	21.0	100.0	110.2	117.7	6.8
眼 科	患者数	1,878	2,283	2,210	△ 73	17,166	20,154	20,881	727
	構成比	1.4	1.5	1.4		6.6	6.5	6.7	
	すう勢比率	100.0	121.6	117.7	△ 3.2	100.0	117.4	121.6	3.6
耳 鼻 いんこう科	患者数	4,352	5,031	4,232	△ 799	10,675	13,569	12,225	△ 1,344
	構成比	3.3	3.2	2.7		4.1	4.4	3.9	
	すう勢比率	100.0	115.6	97.2	△ 15.9	100.0	127.1	114.5	△ 9.9
放 射 線 診 断 科	患者数	0	0	0	0	5,627	7,127	7,907	780
	構成比	0	0	0		2.2	2.3	2.5	
	すう勢比率	100.0	—	—	—	100.0	126.7	140.5	10.9
麻 酔 科	患者数	0	4	0	△ 4	3,047	3,851	3,572	△ 279
	構成比	0	0.0	0		1.2	1.3	1.1	
	すう勢比率	100.0	—	—	皆減	100.0	126.4	117.2	△ 7.2
歯科口腔 外 科	患者数	1,642	2,094	2,011	△ 83	10,291	12,909	12,974	65
	構成比	1.3	1.3	1.3		3.9	4.2	4.2	
	すう勢比率	100.0	127.5	122.5	△ 4.0	100.0	125.4	126.1	0.5
精 神 科	患者数	0	0	0	0	0	0	7	7
	構成比	0	0	0		0	0	0.0	
	すう勢比率	100.0	—	—	—	100.0	—	—	皆増
救 急 科	患者数	1,906	2,178	1,734	△ 444	20,411	22,142	20,785	△ 1,357
	構成比	1.4	1.4	1.1		7.8	7.2	6.7	
	すう勢比率	100.0	114.3	91.0	△ 20.4	100.0	108.5	101.8	△ 6.1
計	患者数	132,295	155,011	156,702	1,691	261,135	308,015	311,698	3,683
	構成比	100.0	99.9	100.0		100.0	100.0	100.0	
	すう勢比率	100.0	117.2	118.4	1.1	100.0	118.0	119.4	1.2

※平成25年度は、平成25年5月1日開院のため11ヶ月分

附表 2

最近3ヵ年の診療科別収入の構成比と患者一人当たり収入金額（消費税抜き）

区 分		診 療 収 入 (単位：千円、%)							
		平成25年度		平成26年度		平成27年度		対前年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	比較増減	伸び率
内 科	入院	731,507		992,347		1,224,651		232,304	23.4
	外来	657,718		817,195		917,471		100,276	12.3
	計	1,389,225	13.4	1,809,542	14.2	2,142,123	16.0	332,581	18.4
神経内科	入院	277,101		280,847		273,874		△ 6,973	△ 2.5
	外来	103,172		143,208		153,549		10,341	7.2
	計	380,273	3.7	424,055	3.3	427,423	3.2	3,368	0.8
呼吸器内科	入院	444,716		501,627		540,092		38,465	7.7
	外来	74,792		129,389		148,414		19,025	14.7
	計	519,508	5.0	631,016	4.9	688,506	5.1	57,490	9.1
消化器内科	入院	577,065		712,759		691,271		△ 21,488	△ 3.0
	外来	227,725		286,069		271,460		△ 14,609	△ 5.1
	計	804,790	7.8	998,828	7.8	962,732	7.2	△ 36,096	△ 3.6
循環器内科	入院	1,077,687		1,371,048		1,578,524		207,476	15.1
	外来	170,948		217,246		236,187		18,941	8.7
	計	1,248,635	12.1	1,588,294	12.5	1,814,710	13.5	226,416	14.3
外 科	入院	980,947		1,035,307		965,026		△ 70,281	△ 6.8
	外来	277,446		352,194		376,341		24,147	6.9
	計	1,258,393	12.2	1,387,501	10.9	1,341,367	10.0	△ 46,134	△ 3.3
小児外科	入院	0		0		0		0	—
	外来	39		0		0		0	—
	計	39	0.0	0	0	0	0	0	—
呼吸器外科	入院	97		0		10,312		10,312	皆増
	外来	218		0		2,143		2,143	皆増
	計	315	0.0	0	0	12,456	0.1	12,456	皆増
整形外科	入院	982,988		1,213,077		1,246,243		33,166	2.7
	外来	175,951		211,146		205,243		△ 5,903	△ 2.8
	計	1,158,939	11.2	1,424,223	11.2	1,451,487	10.8	27,264	1.9
リウマチ科	入院	0		0		0		0	—
	外来	44,587		52,095		58,667		6,572	12.6
	計	44,587	0.4	52,095	0.4	58,667	0.4	6,572	12.6
脳神経外科	入院	926,819		1,076,931		1,126,300		49,369	4.6
	外来	125,264		151,393		141,366		△ 10,027	△ 6.6
	計	1,052,083	10.2	1,228,324	9.6	1,267,666	9.4	39,342	3.2
小 児 科	入院	164,129		231,081		250,043		18,962	8.2
	外来	134,773		172,132		191,647		19,515	11.3
	計	298,902	2.9	403,213	3.2	441,690	3.3	38,477	9.5
産婦人科	入院	399,702		498,045		463,018		△ 35,027	△ 7.0
	外来	74,190		92,518		91,635		△ 883	△ 1.0
	計	473,892	4.6	590,563	4.6	554,653	4.1	△ 35,910	△ 6.1
泌尿器科	入院	310,512		417,942		379,052		△ 38,890	△ 9.3
	外来	184,117		238,219		276,644		38,425	16.1
	計	494,629	4.8	656,161	5.1	655,697	4.9	△ 464	△ 0.1
皮 膚 科	入院	67,933		61,636		69,890		8,254	13.4
	外来	62,559		74,607		84,779		10,172	13.6
	計	130,492	1.2	136,243	1.1	154,669	1.2	18,426	13.5
眼 科	入院	142,355		186,165		182,910		△ 3,255	△ 1.7
	外来	133,782		171,699		204,744		33,045	19.2
	計	276,137	2.7	357,864	2.8	387,654	2.9	29,790	8.3
耳 鼻 いんこう科	入院	200,632		250,250		214,146		△ 36,104	△ 14.4
	外来	79,175		117,794		108,037		△ 9,757	△ 8.3
	計	279,807	2.7	368,044	2.9	322,184	2.4	△ 45,860	△ 12.5
放 射 線 診 断 科	入院	0		0		0		0	—
	外来	81,378		110,463		134,621		24,158	21.9
	計	81,378	0.8	110,463	0.9	134,621	1.0	24,158	21.9
麻 酔 科	入院	0		286		0		△ 286	皆減
	外来	21,737		26,397		25,702		△ 695	△ 2.6
	計	21,737	0.2	26,683	0.2	25,702	0.2	△ 981	△ 3.7
歯科口腔 外 科	入院	90,291		109,058		107,856		△ 1,202	△ 1.1
	外来	64,186		86,673		82,193		△ 4,480	△ 5.2
	計	154,477	1.5	195,731	1.5	190,050	1.4	△ 5,681	△ 2.9
精 神 科	入院	0		0		0		0	—
	外来	0		0		0		0	—
	計	0	0	0	0	0	0	0	—
救 急 科	入院	93,817		116,777		124,180		7,403	6.3
	外来	180,506		251,730		260,144		8,414	3.3
	計	274,323	2.6	368,507	2.9	384,324	2.9	15,817	4.3
計	入院	7,468,298	72.2	9,055,183	71.0	9,447,391	70.4	392,208	4.3
	外来	2,874,263	27.8	3,702,167	29.0	3,970,989	29.6	268,822	7.3
	計	10,342,561	100.0	12,757,350	100.0	13,418,380	100.0	661,030	5.2

※平成25年度は、平成25年5月1日開院のため11ヶ月分

患者一人当たり収入（単位：円、％）					
平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年度		
			比較増減	伸び率	
43,251	43,866	49,339	5,473	12.5	
15,915	16,750	17,461	711	4.2	
23,854	25,340	27,689	2,349	9.3	
45,189	43,401	45,676	2,275	5.2	
11,788	12,852	12,947	95	0.7	
25,549	24,075	23,937	△ 138	△ 0.6	
44,264	42,246	47,678	5,432	12.9	
13,603	17,256	19,590	2,334	13.5	
33,420	32,574	36,421	3,847	11.8	
41,192	43,432	45,692	2,260	5.2	
12,469	14,338	15,269	931	6.5	
24,937	27,468	29,256	1,788	6.5	
85,382	89,588	87,091	△ 2,497	△ 2.8	
14,055	14,023	14,232	209	1.5	
50,379	51,575	52,267	692	1.3	
72,841	75,224	71,664	△ 3,560	△ 4.7	
17,048	19,842	20,779	937	4.7	
42,312	44,029	42,478	△ 1,551	△ 3.5	
0	0	0	0	—	
13,001	0	0	0	—	
13,001	0	0	0	—	
8,836	0	99,156	99,156	皆増	
7,784	0	11,340	11,340	皆増	
8,081	0	42,510	42,510	皆増	
51,208	59,991	60,692	701	1.2	
6,906	7,076	7,289	213	3.0	
25,942	28,450	29,810	1,360	4.8	
0	0	0	0	—	
30,477	27,993	29,451	1,458	5.2	
30,477	27,993	29,451	1,458	5.2	
73,510	71,930	69,529	△ 2,401	△ 3.3	
9,341	10,330	9,971	△ 359	△ 3.5	
40,437	41,458	41,731	273	0.7	
43,815	45,115	47,519	2,404	5.3	
10,306	10,142	10,131	△ 11	△ 0.1	
17,767	18,250	18,268	18	0.1	
58,215	58,190	58,961	771	1.3	
4,868	5,240	4,981	△ 259	△ 4.9	
21,438	22,528	21,130	△ 1,398	△ 6.2	
61,004	64,023	65,422	1,399	2.2	
15,498	16,471	19,708	3,237	19.7	
29,147	31,259	33,064	1,805	5.8	
37,532	39,159	36,707	△ 2,452	△ 6.3	
5,655	6,119	6,513	394	6.4	
10,138	9,897	10,366	469	4.7	
75,801	81,544	82,765	1,221	1.5	
7,793	8,519	9,805	1,286	15.1	
14,500	15,950	16,788	838	5.3	
46,101	49,742	50,602	860	1.7	
7,417	8,681	8,837	156	1.8	
18,620	19,787	19,577	△ 210	△ 1.1	
0	0	0	0	—	
14,462	15,499	17,026	1,527	9.9	
14,462	15,499	17,026	1,527	9.9	
0	71,582	0	△ 71,582	皆減	
7,134	6,855	7,195	340	5.0	
7,134	6,922	7,195	273	3.9	
54,988	52,081	53,633	1,552	3.0	
6,237	6,714	6,335	△ 379	△ 5.6	
12,945	13,046	12,683	△ 363	△ 2.8	
0	0	0	0	—	
0	0	0	0	—	
0	0	0	0	—	
49,222	53,616	71,615	17,999	33.6	
8,844	11,369	12,516	1,147	10.1	
12,292	15,152	17,067	1,915	12.6	
56,452	58,416	60,289	1,873	3.2	
11,007	12,019	12,740	721	6.0	
26,288	27,552	28,647	1,095	4.0	

附表 3

経営分析表

分析項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算式	説明
固定資産構成率	%	90.7	89.6	85.3	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	固定資産と資産総額との割合を表すもので、この比率の高いことは公営企業の特徴であるが、低いほうが望ましい。
固定負債構成率	%	86.2	87.4	84.6	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	固定負債と総資本との割合を表すもので、この比率の低いほうが望ましい。
自己資本構成率	%	△ 3.5	△ 4.5	0.8	$\frac{\text{資本金+剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	自己資本と総資本の割合を表すもので、この比率の高いほうが望ましい。
固定資産対長期資本比率	%	109.7	108.0	99.8	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+固定負債}} \times 100$	固定資産と長期資本（資本金と固定負債との合計）との割合で、資本固定化の程度を表すものであって100%以下であることが望ましい。
固定比率	%	△ 2,563.7	△ 1,996.1	10,259.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金}} \times 100$	固定資産と自己資本との割合で、資本固定化の程度を表すものであって、100%以下であることが望ましい。
流動比率	%	67.8	75.6	125.4	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動資産と流動負債との割合で、流動負債の支払能力の程度を表す比率であって、200%以上であることが望ましい。
当座比率	%	63.0	70.1	118.7	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	当座資産と流動負債との割合で、流動負債の支払能力の程度を表す比率であって、100%以上であることが望ましい。
現金預金比率	%	0.3	0.2	31.1	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	現金・預金と流動負債の割合で、流動負債の支払能力の程度を表す比率であって、20%以上であることが望ましい。
自己資本回転率	回	△ 42.0	△ 15.0	△ 35.5	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首資本金、剰余金} + \text{期末資本金、剰余金}) \div 2}$	自己資本の利用度を表すもので、原則として回転率の高いことが必要である。
固定資産回転率	回	0.5	0.7	0.8	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$	固定資産の利用度を表すもので、収益性の観点からは回転率の高いほうがよいが、健全性の上からいえば回転率のあまり高いのはよくない。
減価償却率	%	7.8	8.4	9.1	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末償却資産} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	固定資産の償却率を表すものである。
流動資産回転率	回	9.8	6.1	5.3	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \div 2}$	流動資産の使用、利用度を表すものである。
未収金回転率	回	11.0	6.6	6.7	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首医業未収金} + \text{期末医業未収金}) \div 2}$	未収金の回収度（回収率）を表すもので、高いほど回転が早く、未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを意味する。
総資本利益率	%	△ 5.2	△ 4.0	△ 2.7	$\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首負債資本} + \text{期末負債資本}) \div 2} \times 100$	当期の純利益（純損失）と総資本との割合で、企業全体（総資本）の収益性を表すものである。
総収益対総費用比率	%	91.5	94.2	96.2	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	当期の総収益と総費用との割合で、営業活動の能率を表すものであって、この比率の高いほうが望ましい。
医業収益対医業費用比率	%	83.6	92.5	95.1	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	当期の医業収益と医業費用との割合で、営業活動の能率を表すものであって、この比率の高いほうが望ましい。
利子負担率	%	1.1	1.2	1.3	$\frac{\text{支払利息}}{(\text{期首企業債、一時借入金} + \text{期末企業債、一時借入金}) \div 2} \times 100$	支払利息と負債との割合を表すもので、この比率の低いほうが望ましい。
企業償還元金対減価償却額比率	%	0.0	71.4	73.9	$\frac{\text{企業償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	企業償還元金とその償還財源に充当すべき減価償却費との割合を表すもので、この比率の低いことが望ましい。